

「開校一五〇周年記念事業」

三本木小学校の思い出パネルディスカッション

日時…令和四年六月一日（水）

一〇…四〇…一一…四〇

場所…大崎市立三本木小学校 体育館

【※六年生児童は体育館で参加 一～五年生は各教室からリモートで参加】

〈パネラーの皆様〉

元三本木町教育委員会教育長

手代木 亮 一様

元YKK AP 総務課長

富澤 謙 一様

有限会社ベストハウス社長

小坂 弘 是 様

元本校PTA会長 宮城県議会議員

佐々木 賢 司 様

元三本木中PTA会長(株) オイデック社長

尾出 恵 一 様

サンデザインCEO

本宮 孝太郎 様

児童会代表

六年NY、SRの二名

ファシリテーター

高橋 裕 彦 校長

高橋校長

開校一五〇周年記念事業思い出パネルディスカッションを始めます。今日の会に向けて全校のみなさんにアンケートを取りましたね。今日はそのアンケートをもとに、三本木小学校の歴史や思い出についてパネラーの皆様にかがいたいと思います。

まずアンケートで多く意見が寄せられたもので当時の三本木小学校の児童数や学校の様子についてうかがっていききたいと思います。

児童数や学校の様子について

尾出様 私が小学校五年生の時に西校舎ができるといので、古い校舎を壊してプレハブ校舎が作られ、そこで五年生の一年間学習しました。六年生のときに新しい西校舎が完成して、第一号として私たちが使わせてもらいました。

小坂様 わたしの時は、坂本分校がありました。二年生で廃校になり、三年生のときに統合になりました。古い木造の校舎で、廊下を歩くとシミシと音がするようなぼろぼろの校舎でした。その校舎には坂本と斉田、音無の三地区の児童が歩いて通っていました。一クラスがだいたい一五か一六人くらい

小さな学校でした。校庭も今三本木小学校の五分の一くらいの大きさしかありませんでした。プールもありませんでした。プールがなかったので、鳴瀬川で泳いで遊んでいました。そんな思い出があります。



旧校舎

手代木様

現在わたしは八二歳です。この学校を卒業してから七〇年が経ちました。みなさんからしたら昔のことだと思います。その当時もこの天王沢の土地に小学校がありました。今から一一八年前に建てられた木造の立派な

校舎でした。私はその学校に入学しました。西側と東側に昇降口があり、新校舎と言われる昭和七年に建てられた立派な二階建ての校舎がありました。

今の体育館の西側には防空壕があり、学校には用務員さんがいてお世話をしてくれました。

高橋校長 その当時の三本木小学校の子供たちの数を調べてみたのですが、一番児童数が多かったのは昭和二十四年、手代木さんが小学生だった頃です。一二五四人でした。今三七二人ですから、三〇四倍？すごい数の子供たちが通っていたんですね。

では次の話題に進んでいきたいと思います。当時、たくさんの子供たちが学んでいた三本木小学校ですが、当時の学校での生活についてお聞きしていきたいと思います。六年生のNYさんから質問があります。

六年NY 当時の授業や休み時間の様子など、学校生活について教えてください。

本宮様 授業はみんなしつかり受けていた印象です。時にはうるさくして廊下に立たされている子もいました。休み時間は基本的に外で遊んでいました。今はありませんが、校庭にバスケットボールリングがあつて、そこでバ

スケットをしたり鬼ごっこをしたりして、たまにけがをして早退したこともありました。放課後の過ごし方は、二パターンあつて、すぐに家に帰る子と学校で遊んでいく子です。



平成10年頃の校舎とバスケットボールリング

私は、学校に残って夕暮れまで友達と遊んでいる方でした。休み時間も放課後も外で遊んでいました。友達と遊ぶのが好きだったんだなと思います。

高橋校長 その頃学校はバスケットボールリングがあつたんですね。続いて佐々木さんに聞いてみたいと思います。

佐々木様 当時の授業もあまり今と変わりはないと思います。でも、当時はパソコンもタブレットもなかったので、先生が一生懸命黒板に書いていたことやお話しすることをノートに書き、教科書を見て学ぶという勉強をしていたことを思い出します。

二時間目が終わるとちよつと長い休み時間になりますよね。そうすると、みんな一斉に校庭に出ていつてずつと走っていました。今思うと何のために走っていたのか分かりません。教室で遊んでいる子はほとんどいませんでした。

それから、当時三本木ファイターズに所属していたので、放課後は校庭でファイターズの入団テストを受けました。五年生ぐらいになると、ここから三本木球場まで歩いて行って毎日休みなく練習していました。そのおかげで、県大会で優勝し、東北大会でも優勝し

て、全国大会に出場することができました。本当に小学生の頃は、野球ばかりやっていました。

高橋校長 佐々木さんはファイターズの野球少年だったそうです。ファイターズの野球少年や野球少女は手を挙げてください。(ファイターズに入っている子が会場と教室で手を挙げました。)聞きたいことがあったら後で佐々木さんに言ってくださいね。続いて富澤さんお願いします。

富澤様 現在私は七七歳です。私の時は人数が多かったです。一クラス五〇人で三クラスありました。ぎゅうぎゅう詰めで、もつと多い人数のクラスもありました。休み時間は、みんな外で遊んでいました。何をしていたかというと、ドッジボールです。男女一緒にドッジボールをして、よく男が負けていました。そのくらい男女の仲がよかったです。今はどうか分かりませんが、女の子の方が体が大きかったです。

放課後や行事では、イナゴ取りをしていました。一日中イナゴ取りの日もありました。それを学校に持ってきて、ゆでたりして業者の人に売っていました。家に持って帰って佃煮みたいにして食べました。それを売ったお

金で何をしていたかというと、学校の備品を買っていました。例えば、おひな様とかテレビとかです。夏休みは、もちろんプールなんかないので、三本木の鳴瀬川で水浴びです。



鳴瀬川での川遊び

高橋校長 いなご取りって知っていますか？いなごは知っていますか？バッタの仲間ですね。それをいっぱい取ると、お金になったんですね。みんなおいしい、おいしいって食べていたんですね。みんなは食べたことありますか。

六年生 ないです。

高橋校長 ないですよ。この話になると長くなりそうですね、次に進みましょう。それでは、SRさん質問があるようですね。お願いします。

当時の先生について

六年SR 当時の先生について教えてください。印象に残っている先生がいたら教えてください。

佐々木様 当時恐かった先生はいませんでした。先生や友達と決めた約束事を守らなかったりすると、ちゃんと叱ってくれる先生がたくさんいましたね。

印象に残っている先生は、私が三、四年生のときの担任の小野寺先生です。当時、漢字の問題を出されたことがあったんですけど、クラスの友達は誰も答えられなかったのに、私が手を挙げて答えました。そしたら、先生がすごく喜んでくれました。当時はパソコンとかなかったですから、先生はガリバンで：ガリバンっていうのは後で先生に聞いてください。手書きのお便りを書いてくれました。そのお便りの中にお友達は答えられなかったけど賢司くんはちゃんと答えられました。としつかりと書いてくれたのです。それがとてもうれしくて私の自信になりました。当時、算数が得意じゃなかったんですけど、国語はその先生のおかげで大好きになりました。今も漢字は得意分野です。

そして、もう一人、担任の先生だった大場先生という先生も大好きでした。授業のときにうどんを作るんですよ。それも粉から麺を練って作るんです。やったことありますか。それを作ってスープになる煮干しだったと思うのですが、出汁を取ってみんなで食べました。そのようなことをやってくれる先生は他にいなかったです。まあ、今思えば、食べ物大切さを教えてくれたんだなって思います。クラスみんなで作ったうどんは本当においしくて格別の味でした。私の中では、この二人の先生が今でも心の中に残っています。

高橋校長 とつてもすてきな二人の先生のお話でしたね。ちなみにその時の漢字はどんな漢字だったんですか。

佐々木様 はい。絶対忘れないですね。全員とか全体の「全」です。「まったく」という読み方は周りの友達は答えられなかったもので、本当にうれしくて今でも覚えています。

高橋校長 今でも漢字が得意ということですね。みんなもそうやって得意なことを見付けられるといいですね。本宮さんはどうですか。

本宮様 恐かった先生は、四年生の時の担任の先生で桑折先生という方です。私も何回か怒られたことがありました。

授業に対しては熱心な先生だったなと思います。印象に残っている先生は、五年生の時の担任の先生です。四、五年前にも三本木小学校にいらっしゃったらしいのですが、堀越先生という方です。その年に自由研究の志田郡の発表会があって、三本木の代表に私が選ばれました。大勢の前で私が発表することになりました。私はそういった経験がなかったですごく緊張していたのですが、「今の自分を精一杯出せばいいから。」という言葉を掛けてくださった堀越先生のことは今でも印象に残っています。

高橋校長 堀越敏彦先生ですか？

本宮様 そうです。

高橋校長 ご退職になされたんですが、実は今も三本木小学校に週に一回来ていただいていますよ。いいお話を聞かせていただきありがとうございます。

富澤様 六年間で一番の思い出に残っている先生は、伊東あや子先生です。一年生の時の担任です。そこに（体育館前方の壁面を指差して）みつば児童会の歌がありますよね。これを作詞作曲した方です。歌ったことある人？（全員が挙手）当時は、校歌がなかったの、なんらかの行事のときには校歌の代わりにみつ

ば児童会の歌を歌っていました。学校の中で「みつば」ってつく言葉たくさんありますよね。みつばホールとか。あれと同じみつばです。この伊東あや子先生は、三本木小学校に赴任してから一回も他の学校に行っていません。ずっと退職するまで三本木小学校にいました。退職する前は、ベテランですから校長先生よりもえらかったんです。ずっと一年生を担当していて、私は三人兄弟ですけど、上の三人の担任があや子先生です。そのくらい印象深く、三本木の七〇代以上の人で、あや子先生を知らない人は「もぐり」です。そういうふうにもいいぐらいの先生でした。

もう一人は、五、六年の担任で千葉まさし先生。五年生の途中で結婚して横山になりました。先ほどドッジボールで男女分け隔てなくっていいましたが、それをつくった人が横山先生でした。私たちのクラスは本当に仲がよくて、コロナが始まる前までは、二年に一度同級会していました。一番集まったときには、一五〇人中、七五人が集まりました。一番多いときは、一年間で七回やった年もあり、高校生の時は茶話会みたいなこともやりました。

高橋校長 ありがとうございます。ぜひみなさんもお家に帰ったら伊東あや子先生を知ってるかどうかおじいちゃんやおばあちゃんに聞いてみてください。きっとみんな知っているんだと思います。では、ここで教室から参加しているみなさんから質問してもらいます。四年生のTTさんお願いします。

学校の行事や思い出について

四年TT この前三本木小学校で運動会がありました。運動会や学習発表会、合宿や修学旅行などはどんな様子でしたか。

高橋校長 この質問については、小坂さんと尾出さん、手代木さんに聞いてみたいと思います。はじめに小坂さんお願いします。

小坂様 当時は学習発表会じゃなくて学芸会でした。この体育館じゃなくて古い講堂のときでした。六年生のときには、劇をやりました。「りよじつのキッド」という劇でした。私が主役をやりました。真っ暗な中でスポットライトを浴びせられて、なんとかやりきりました。

運動会では、六年生のメインプログラムとして、鼓笛隊の行進をやりました。笛とか太

鼓とかで演奏しながら六年生全員で行進するわけです。一か月くらい前から毎日のように練習して、これも成功しました。ちなみに私は一番前でシンバルをやりました。



旧 講 堂

高橋校長 すごいですね。主役をやったんですね。先ほど後ろのスクリーンに古い講堂が映りましたが、体育館ではなく、その当時は講堂という名前の広い場所があったんですね。すてきな場所でした。続いて尾出様お願いします。

尾出様 僕が小学校六年生の時に、修学旅行で会津若松に行きました。鶴ヶ城で財布を落として、すぐ落ち込んでいたときに当時の担任の先生に三千円を借りて白虎刀などを買いました。家に帰って、「財布落としちゃったんだ。」って言ったら後日届いたんです。会津の人はとってもいい人なんだなと思いました。とっても楽しい修学旅行でした。

高橋校長 六年生のみなさんも七月に行きますね。財布を落とさないようにしてくださいね。富澤さんの時代は、修学旅行はどこに行きましたか。

富澤様 三年生のときは松島でした。四年生は平泉、五年生は仙台。六年生の時は、修学旅行という名前ではなく遠足っていう名前で行ったと思います。

高橋校長 小坂さんのときはどうでしたか。

小坂様 今の小学生と一緒に会津に泊りました。
高橋校長 手代木さんのときはどうでしたか。

手代木様 あまり記憶にないですね・・・私の

小学生時代は昭和二〇年代。まだまだ世の中が落ち着かない時代でした。春には田植え、秋には稲刈りがあったて、機械ではなく全て人の手でする時代でした。みんなで学校を休んでうちの仕事を手伝うという時代でした。

富澤さんからもあったように、いなご取りをしてとっても大変でした。ある一定量を取ってくるという約束事があったて、うちの人に手伝ってもらって夕方田んぼに行ったり朝早くいなごが動かないうちに取りに行つて量をたくさん取れるようにしていました。

校長 それでは、子供たちから「小学校時代の一番の思い出は何ですか。」という質問が届いていますので、聞いていきます。

手代木様 これはちよつと行事とは違うかもしれませんが、印象的だったのは、富澤さんの時代も同じかもしれないが、私たちの時代は、子供たちの栄養が不足しているというので、脱脂粉乳ミルクというものを捕食給食で出されました。

その他、自宅からじゃがいもとかにんじんとかを持ってきて、学校でカレーを作っていただいて、弁当にかけて食べました。それが年に何回かあつて、食料のない時代でしたの

で、今でもその味が印象に残っています。

高橋校長 ありがとうございます。カレーを作ったというお話までいきましたけれども、給食についてはまた後で触れたいと思います。では、尾出様、お願いいたします。

尾出様 はい、一番印象に残っている思い出は、小学校四年生の時に高倉小学校から転校してきたことです。転校というか転入だったんですけど、高倉小学校のみなさんが三本木小学校に六六人全員転校する、という僕の人生のビッグイベントがあつて、今まで友達だった人たちと別れて、新しい環境に飛び込むという経験を小学校四年生の時にしました。

高倉小学校は、同級生が二十何人しかなくて、一学年に一クラス、小さい学校だったので、三本木小学校に来たら「こんなに大きい学校なの。」とびっくりしました。廊下が長くて、校舎がでかくて。でも三本木小のみなさんはすごく温かく迎え入れてくれて、すごく親切にしてもらったので、すぐに馴染むことができました。それが一番の思い出です。

高橋校長 何クラスだったのですか？

尾出様 僕の学年が三クラスで、僕の一つ上が五クラスだったんですね。

高橋校長 その頃は七〇〇人か八〇〇人か、そ

れくらいの子童数だったようですね。続いて手代木様お願いします。

手代木様 私の小学校時代の一番の思い出は、勉強です。私は体が弱くて学校を休んでいる期間が大分長く、学校に迷惑を掛けました。そんな時に、クラスのみなが一人一人寄せ書きを書いて、それを綴ったものを持ってきてくださったんですね。「早く学校に来るように。」とか「今、学校でこんなおもしろいことをしているよ。」とか、「学校は楽しいから早く来てね。」とかいろんなことが書いてありました。それが自分の励みになり、学校にこれらようになって、無事卒業することができました。これが今八〇才代になつても一番記憶として残っています。一人一人の人生というものの大切さというものを教えてもらいました。

高橋校長 すてきなお話ですね。次に、小坂様、お願いします。

小坂様 また、坂本分校のお話をさせていただけますが、坂本には本当に山とか田んぼしかありませんでした。それで、体育とか図工の時間は、教室から出て野山を駆けまわっていましたね。

あと、秋になると先ほど手代木さんとか富

澤さんが言われたように、「はったぎ」ってみなさん分かりますか？いなごのことを「はったぎ」って言うんですね。たぶん私で最後だと思うんですが、授業中にはたったぎ取りに田んぼに出かけて、一キロくらいずつ取りました。

それから、冬になると今みたいな暖房はないですから、だるまストーブというのが教室の中央に一個置いてあって、それで暖を取っていたんです。コークスを焚いていましたが、冬休みになるとそのコークスに着火するために、各自杉っ葉を一盛り分取ってくるという仕事がありました。その杉っ葉一盛り分でコークスに火を点けていました。そんな感じで冬場を過ごしていました。

高橋校長 「はったぎ」とか「だるまストーブ」「杉っ葉」「コークス」小学生のみなさんにはよく分からないですよ。ぜひ、おじいさんやおばあさんに聞いてみて下さい。校長先生はよく知っていますから分からない人は聞きに来て下さい。

では、また教室にいるみなさんから質問があるようです。二年生のみなさんに聞いてみたいと思います。TNさんお願いします。

当時の給食について

二年TN 給食についてです。人気のあったメニューや苦手だったメニューについて教えてください。

高橋校長…TNさんからは、給食のメニューについての質問でした。それでは、給食について富澤さん、本宮さん、佐々木さんに聞いていきたいと思います。最初に富澤さん、お願いします。

富澤様 給食は、私たちの頃はなかったと言ってもいいくらいです。先ほど手代木さんがお話ししていましたけれど、ミルクは牛乳じゃなくて脱脂粉乳でした。脱脂粉乳のことは、みなさんのお母さんとかお父さんも知らないんじゃないかな。そういうものだったのか、おじいさんやおばあさんに聞いてみて下さい。私たちよりずっと後の人たちは、「脱脂粉乳はまずい。」と言っていたようですが、私たちは食べ物が多かったもので、みんなで奪うように飲んでいました。

あと、先ほどありましたけれども、月に一回あるかないかですがカレーの日がありました。家からじゃがいもとか、にんじんとか持ってきたさいと言われ、その材料を持ってきた

てカレーを作って食べたのです。

それと、先ほど、だるまストーブの話がありましたけれど、みんな弁当持参なので、冬場になるとだるまストーブの周りに金網を置いて、そこに弁当箱を置いて温めていたんです。ところが、その時にね、たくあん漬けとか入れてくる子もいたんですが、ものすごいおいでね、ちよつと大変だったんです。

あと、弁当のおかずとかはあまりなかったもので、いわゆる「のり弁」と言っていましたけれども、コンビニで今売っている「のり弁」だと、おかずとかフライとか入っていますが、その「のり弁」はご飯の上に海苔が敷いてあって醤油が付いてある、それだけなんです。でも、それを見るとね、美味そうですね。でも、私は「のり弁」をあまり持つてこれなかったからうらやましかったね。ちよつと立派な弁当だよね、二段なんですよ。ご飯を敷いて、海苔を敷いて、またご飯、またその上に海苔。そのような弁当の友達もいました。それをストーブの周りで温めて食べたという記憶があります。

高橋校長 ストーブの周りからただよってくるたくあんのおいを想像してしまいました。では、本宮さん、お願いします。

本宮様 給食は楽しみの一つで、けっこう美味しかった記憶があります。今の家庭科室の辺りの給食室で作っていたようですが、給食当番がそこに取に行くという流れでした。

人気のあったメニューは「松茸ご飯」と「ハムとチーズのはさみ揚げ」というものですが、ハムとスライスチーズがサンドイッチされていて、それをフライしているんですけど、それが結構人気で、フライの部分だけ食べてハムをご飯に巻いて食べたりとか、いろいろアレンジをしながら食べていた記憶があります。逆に苦手だったメニューは、野菜ですかね。きゅうり、トマトが苦手で、酢の物とかサラダにきゅうりが入っていて、給食当番の人にこっそり言っちゃって抜いてもらったりと、ミニトマトはそのまま出てるので「一口食べなさい。」と言われたときには、ちよつとだけ皮をはがして食べた記憶があります。全体的にいうと、美味しかった思い出があります。

高橋校長 富澤さんの「のり弁」と、本宮さんの「ハムとチーズのはさみ揚げ」のギャップがすごいですね。佐々木様お願いします。

佐々木様 正直、給食は四〇年前の話なので、僕は同級生にLINEで「みんな、情報下さ

い。」と出してみました。「何が好きでしたか。」と聞いてみたところ、一番はコッペパン。コッペパンって分かります？コッペパンが一番人気でした。なぜかという、今はご飯がほとんどで、パンは月に一回か二回くらいのもうですが、私たちの時は毎日コッペパンでした。それに牛乳は、牛乳瓶に入っていました。家でパンを食べることが当時は少なかった。家で学校に行くとかパンが食べられるのでうれしかったんですね。コッペパンにバターだったかマーガリンだったかをつけながら食べる、というのが給食でした。

当時はですね、風邪を引いたり具合が悪かったりして学校を休む友達がいると、そのコッペパンを友達の家に行けるというのがルールとしてありました。

六年児童…ええ…

佐々木様 それを届けると、その友達のお母さんとかおばあちゃんとかからお菓子をもらえたんです。だから、みんな休んだ人のところに「俺が行く。」って言って、競争になりました。それだけそのパンがみんな大好きだったんですね。だけど、届けるのを忘れちゃって、学校の机の中に入れていたら、カチカチになって後で先生に怒られたという人もいました。

当時は、もう一つルールがあつて、食べられない給食があると、今は残してもいいんですかね？私たちの時は、絶対給食は残してはいけませんでした。だから、給食の時間に全部食べられない友達は、五時間目になっても六時間目になっても給食をずっと食べていました。中には、泣きながら食べている人もいました。

六年児童 ええ…



会場の様子

佐々木様 好き嫌いは一切だめでした。「食べ物

は大事にしなさい。」という教えがあった頃だ
と思うんです。体に良いもの、栄養があるもの
をちゃんと学校の栄養士さんが考えて作っ
てくれているメニューなのだから「すべての
人に感謝しなさい。」と教えられながら、毎日
給食を食べていた思い出があります。なので、
今も好き嫌はなく、食べていられるのかなあ
と思っています。

高橋校長 私も「そうだったなあ。」と思うお話
がたくさんありました。みなさんは毎日とて
も美味しい給食をいただいています。好き嫌
いなく食べていきましょうね。

それでは、そろそろ終わりに近づいてきま
した。最後に、今日来ていただいた先輩方か
らその当時、小学生だった時の自分に、もし
今言えることがあれば。また、今の三本木小
学校の子供たちへのメッセージということ
一言ずつお願いしたいと思います。本宮様か
らお願いいたします。

子供たちへのメッセージ

本宮様 小学生に伝えたいことですが、「小学校
の時の夢を大切にしたい。」と思います。

中学、高校、大学、社会人と進んでいつて、
いろんな経験をしたり、いろんなことに染ま
っていったりすると、自分でできること、で
きないことが分かっていくと思うんです。夢
の内容も変わっていくと思います。小学生の
時の夢というのは、本当に純粋でちよつとば
かっているところもあるかもしれないけど、
それが実は大人になって、今になって、本当
になりたかったものなんじゃないかなと思
います。

必ずしも「夢を持って」とは言いませんけど、
今、夢を持っているのであれば、その夢を大
切にしてほしいなと思いますし、今の時代は
わりと夢を叶えやすくなっていると思います。

高橋校長 尾出様、お願いいたします。

尾出様 私は今四四才で、会社の社長をやつて
いますが、今、僕は学校に通っています。

六年児童 ええ・・・

尾出様 子供の時に勉強しないと、大人になつ
ても勉強しなきゃならなくなります。大人に
なつてから勉強すると、大変なんです。僕が

今、大変な思いをしています。なので、「みな
さんは今勉強できるのであればした方がいい
ですよ。」と、これを昔の自分に伝えたいと思
います。何かから逃げても、必ず後からやら
なきゃならない時期が来ます。なので、今や
つた方が後で楽です。あともう一つ、「財布を
落とすから・・・」

六年児童 あはは・・・(笑)

尾出様 修学旅行の時は、ひもの付いた財布を
持つていくことを伝えたいです。

高橋校長 「勉強するなら今でしょ。」というお
話でした。それでは、佐々木様、お願いいた
します。

佐々木様 三本木小学校が生まれてから一五〇
年、今年は宮城県も誕生してから一五〇周年。
その記念すべき年にみなさんが六年生として
この三本木小学校で学び、三本木に住んでい
るということは、ある意味奇跡かもしれない
し、みなさんがそれぞれが持っている運命な
のかも知れません。この三本木小学校で学ん
だことをちゃんと忘れずにいてほしいと思
います。

自分もそうでしたけれども、普段あまり勉
強できなかったんですよ。国語以外あまり好
きじゃなかった。でも、三本木ファイターズ

で野球を一生懸命に頑張りました。一生懸命やることって、人生の中でそんなに多くあるわけではありません。だから、今野球を頑張っている人もいるだろうし、サッカーを頑張っている人もいるでしょう。バスケットを頑張っている人もいます。バレーボールを一生懸命やっている人も。それから音楽を一生懸命やっている人、ダンスをいっぱいやっている人もいます。小学校や中学校でやること、子供のうちにやっていることは全部、全力でやった方が良くと思う。悔いが残らないように、結果が出なくても自分が努力することは大人になったときに必ず力になるし、自分の中にその力がずっと蓄えられているようになります。なので、簡単なことも難しいことも、世の中にはいっぱいあるけど、すべて全力でやってほしいと思います。

私も全力でやって、今、議員というお仕事をいただいています。みなさんに「佐々木賢司みたいになりたいな。」と思ってもらえるような、議員になりたいと思っています。なので、みんなと一緒に全力でこの三本木をこれから作っていききたいと思っています。みなさん、頑張ってください。

高橋校長 「全力」の「全」は何と読むんですか？

六年児童 「まったく」

高橋校長 はい、一つ覚えでしたね。小坂さん、

お願いいたします。

小坂様 小学生の自分に何かを言っただけという質問を聞いて、「非常に難しい質問だなあ。」と思いました。なぜかというと、私は小学生時代、本当にだらだらとまったく変化のない毎日を過ごしていたんじゃないかなと思うからです。やはり、小学生のうちから大きな夢なり、目標を持つこと、先ほど本宮さんも言っただけけれども、今、アメリカの大リーグで活躍している大谷翔平選手はすごいんですね。すごい記録を出していますが、彼は小学校時代から「アメリカで大リーグの選手になる。」という夢を持っていたそうです。それで、努力してすごい記録を達成しています。ですから、何でもいいですから大きな夢なり目標なりを持ってそれに向かって努力を続けていってほしいと思っています。以上です。

高橋校長 では、富澤さん、お願いいたします。

富澤様 今、テレビではクイズ番組が多いですね。私、クイズ番組が大好きなんです。正

解を出すと、やっぱりうれしいですね。クイズは楽しいし、いろいろな知識を得ることが出来ます。「雑学」と言っていますが、こんなこともみなさんと会話したりコミュニケーションを取ったりするときに大変役に立つんじゃないかと思っています。

私がなぜクイズを好きになったのかというと、小学校時代から新聞をずっと読んでいたからだと思うんですね。今でも、新聞は隅から隅まで興味あるところは全部読みます。経済欄の株式のところは読みませんが、だいたい全部目を通して、「見出しがおもしろそうだな。」というところは全部読みます。それが小学校時代からずっと続いているので、知識が少しずつ溜まってきたんじゃないかと思っています。そしてクイズ好きにもなったんじゃないかなと。そのためには、新聞を読んでもいい。今はパソコンとかアプリとかいろいろありますが、どういう媒体でもいいですから文字を読む、というのが大切じゃないかなと思います。

それと、これから中学、高校そして社会人になる時、必ず言われることがあります。「挨拶を大切にしろ。」と。これはね、上手に生活するために、挨拶はとても大事だからで

す。頭文字を取ってね、「お・あ・し・す・はい」と言っています。「お・あ・し・す・はい」の「お」は「おはよう」、「あ」は「ありがとう」、「し」は「失礼します」、「す」は「すみません」、「はい」は元氣よく「はい。」と。これはみなさんが、中学、高校、大学、社会人と成長していく中で、必ず使う挨拶です。しっかりと覚えて下さいね。

そして、みなさんが言われると思いますが、「早寝、早起き、朝ご飯」です。朝ご飯は必ず食べて下さいね。そうしないと、一日の活力が出ません。私の同級生にも、朝ご飯を食べてこれられない、食べないじゃなくて食べてこれない境遇の子供たちがいました。その子は登校途中で腹が減ってね、学校まで来られなくなつて家まで駆け戻つたということもありました。やっぱりね、「早寝、早起き、朝ご飯」何回も言われると思いますけど、大変大事だと思います。よろしく願います。

高橋校長 手代木様、よろしく願いましたます。

手代木様 私からみなさんに伝えたいことは、「経験しておいて損なことはない。」ということです。みなさんもこれからいろいろなことにトライして、たくさんの経験を積んでいた

だいて、将来に向かっていただきたいと思います。

高橋校長 ありがとうございます。すてきなメッセージをたくさんいただきました。ぜひみなさん、今いただいたお話、忘れないで頭の中、心の中に残しておきたいですね。

六年児童 はい！

高橋校長 すてきな返事です。「お・あ・し・す・はい」の「はい」ですね。すばらしいと思います。まだまだ伺いたいことはたくさんありますが、時間になつてしまつたようです。これでパネルディスカッションの方を終わらせていただきます。本当に皆さんの貴重なお話をありがとうございました。



パネラーのみなさま